

# BPSD治療に役立つ介護サービス

本ファイルをご使用になる皆様へ

認知症のご本人に、妄想、幻覚、興奮などの行動・心理症状(BPSD)を認めることがあります。このBPSDは、しばしばご本人や周囲の人を悩ませます。BPSDは、一般的には適切な声かけや対応で治療しますが、介護サービスの利用によって軽減させることも可能だと思っています。しかしどのようなBPSDに対して、どのような介護サービスが有用であるかは、これまで、整理されたことがありませんでした。

私たちは2014年の秋に、大阪府社会福祉協議会に属する105の事業所の、認知症の方の介護に従事されている職員の協力を得て、「BPSDに有効な介護サービスに関するアンケート調査」を行いました(アンケート回答者の職種は次ページをご覧ください)。

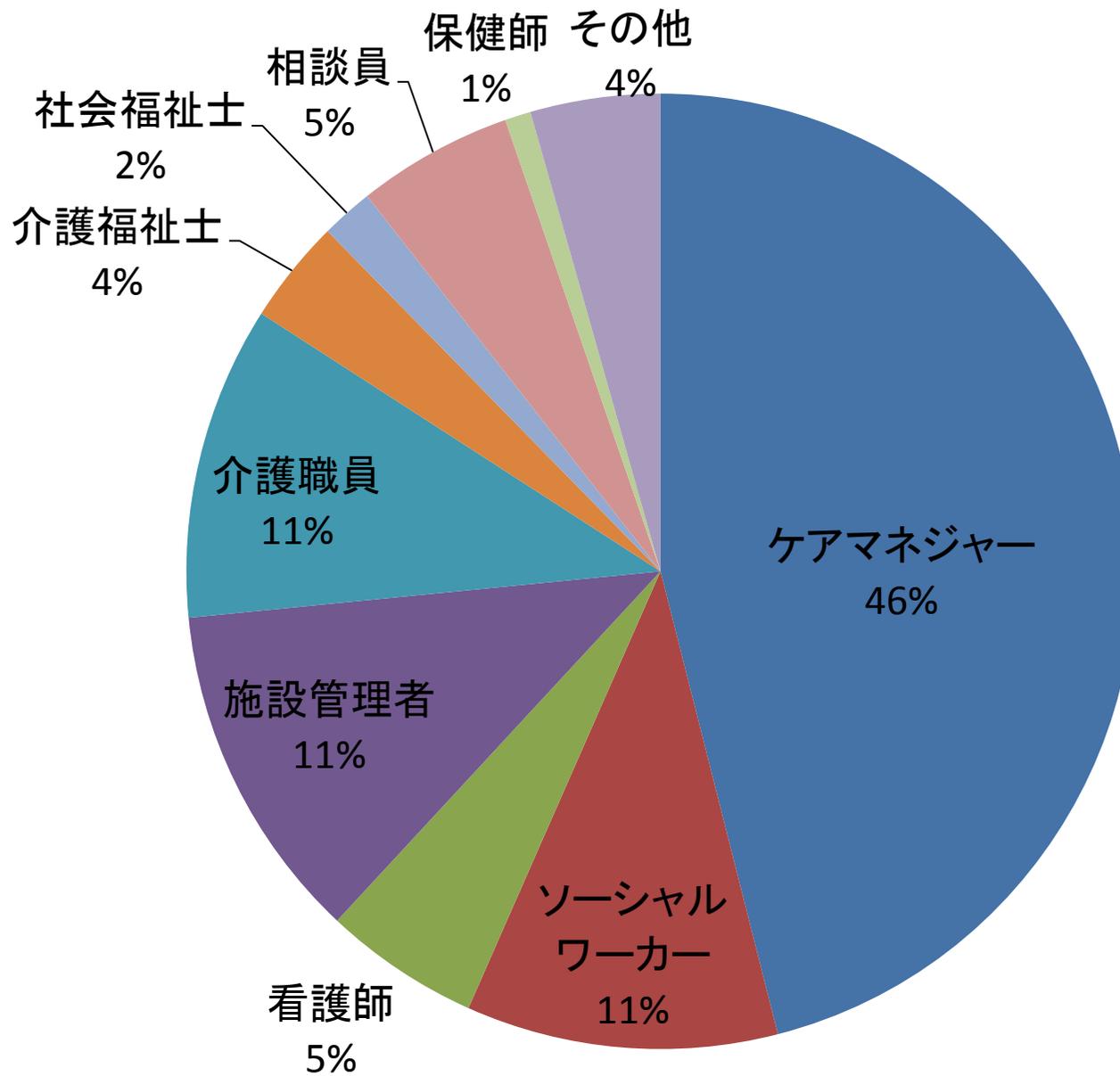
このアンケート調査では、11項目のBPSDに対して、選択肢にあげた介護サービスの中から「有用性を経験した」、あるいは「有用だと考えられる」介護サービスを、順位を付けて3つ選択してもらいました。そして1番有効だと考えた介護サービスに3点、2番目に2点、3番目に1点を与え、グラフを作成しました。また何故その介護サービスが有用なのかという理由も同時に聴取しましたので、得点の高かった介護サービスには、多かった理由も付記しました。

本ファイルの情報をご利用する際に、1点だけご留意いただきたいことがあります。それは、2014年の秋に大阪府でどんな介護サービスが利用可能であったかという、そのときの現状が本調査の結果に影響しているということです。提供が少ない介護サービスは、実際にはBPSDに有効であったとしても、本調査では低得点になっている恐れがあります。

本調査結果が皆様のBPSD治療や予防にお役に立てばと思います。

平成28年1月25日  
作者一同

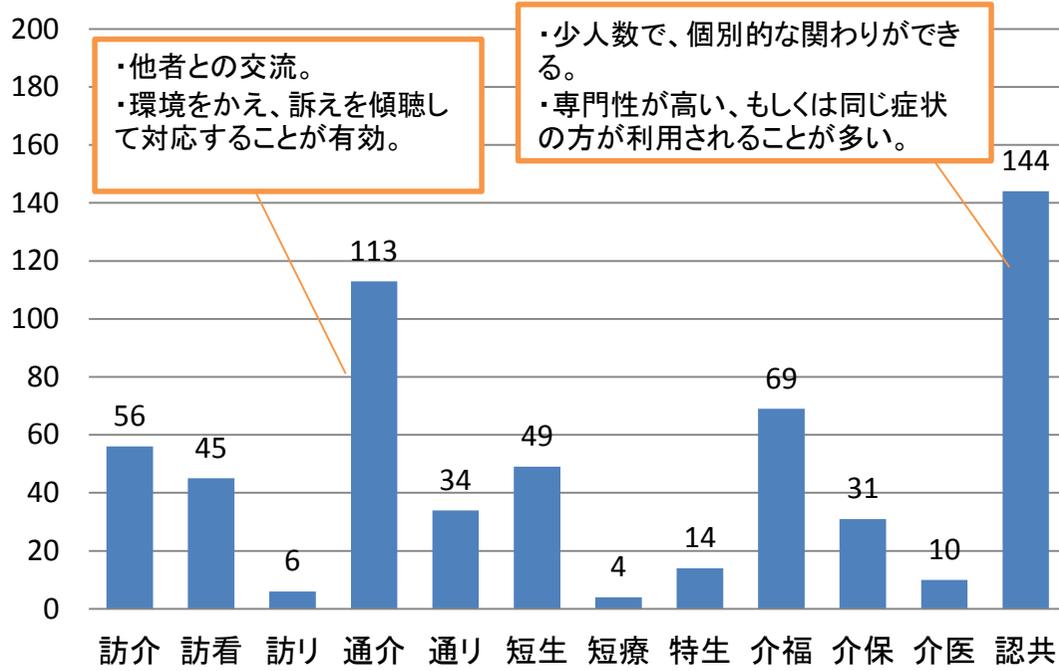
# アンケート回答者職種



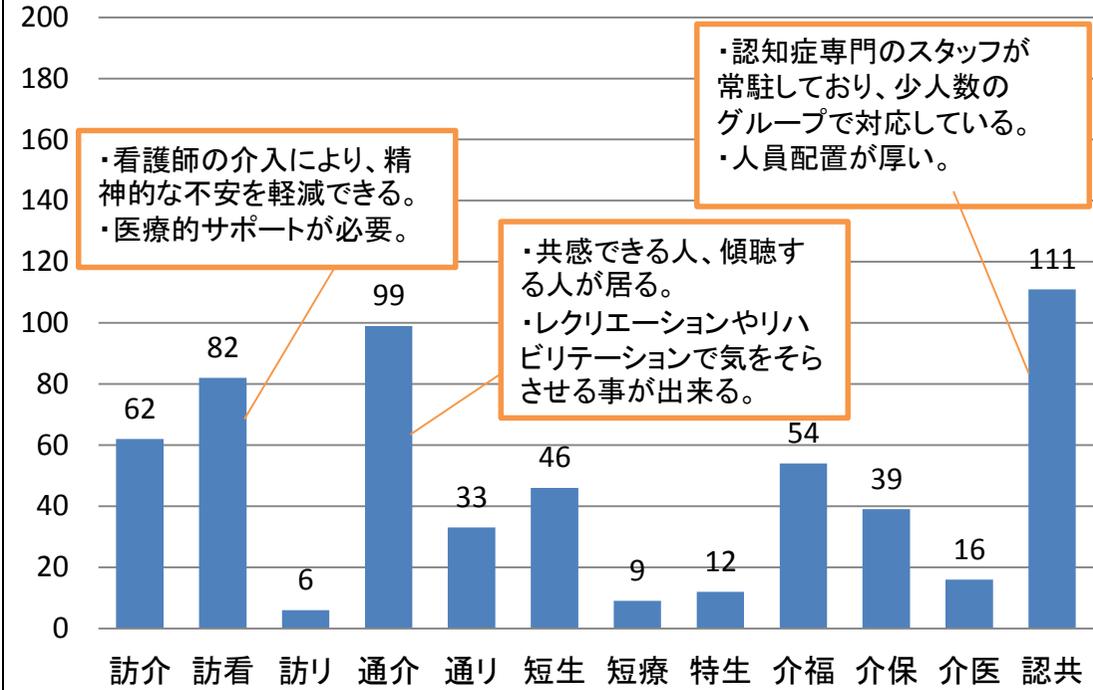
# 選択肢にあげた介護サービスの項目と詳細

- ・訪問介護【訪介】:訪問介護員(介護福祉士、ホームヘルパー)が訪問し、身体介護や調理などの家事援助を行う。
- ・訪問看護【訪看】:看護師等が訪問し、療養の世話や診療補助を行う(医療依存度が高い場合には、医療保険の対象)。
- ・訪問リハビリ【訪リ】:理学療法士、作業療法士が訪問し、機能回復訓練を行う。
- ・通所介護【通介】:デイサービスセンター等において、日帰りで入浴・食事の提供とその介助、日常生活の世話と機能訓練を行う。
- ・通所リハビリ【通リ】:日帰りで、理学療法・作業療法等の必要なりハビリテーションを行う。
- ・短期入所生活介護【短生】:家族が病気や休養などで一時的に介護ができないときなど、短期間の入所で入浴・食事の提供とその介助、日常生活の世話等を行う。特別養護老人ホーム等が行う。
- ・短期入所療養介護【短療】:短期間の入所で入浴・食事の提供とその介助、療養上の世話、機能訓練等を行う。介護老人保健施設、介護療養型医療施設、医療法上の療養病床等が行う。
- ・特定施設入居者生活介護【特生】:有料老人ホームやケアハウスなどで入浴・食事の提供とその介助、日常生活の世話等を行う。必要に応じて外部の訪問サービスの調整も行う。
- ・介護老人福祉施設(施設サービス)【介福】:常時介護が必要で居宅での生活がむずかしい要介護者を対象に、介護サービスと日常生活の場を提供する。
- ・介護老人保健施設(施設サービス)【介保】:入院治療の必要がない要介護者を対象に、介護、看護、リハビリ等を行う。医療施設と福祉施設・在宅の中間施設と位置づけられる。
- ・介護療養型医療施設(施設サービス)【介医】:慢性疾患等により長期療養を必要とする要介護者を対象に、医学的管理や看護等を行う(2018年3月まで)。
- ・認知症対応型共同生活介護(地域密着型サービス)【認共】:グループホームなどで比較的安定状態にある認知症要介護者を対象に、共同生活の中で入浴・食事の提供とその介助、日常生活の世話を行う。

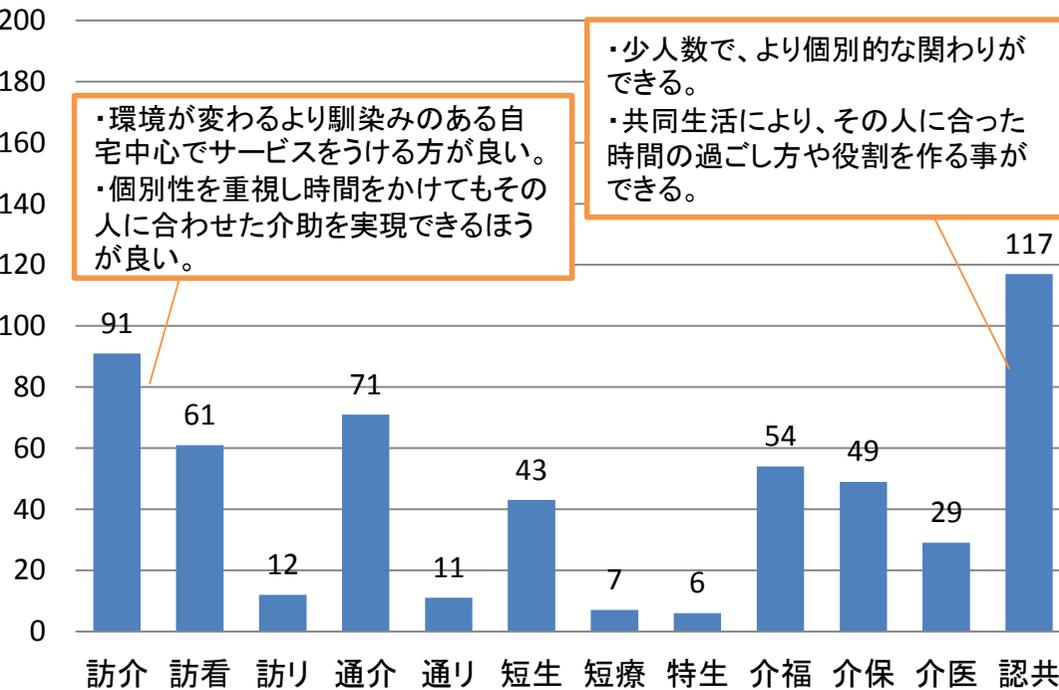
## 妄想に対して有効と思われる介護サービス



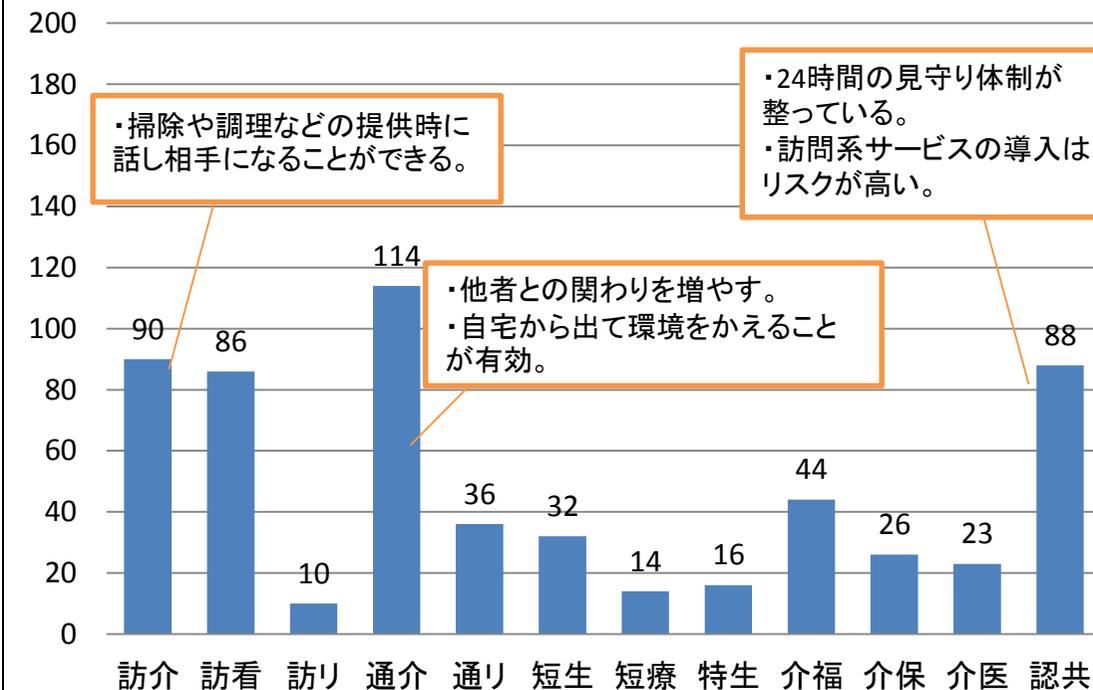
## 幻覚に対して有効と思われる介護サービス



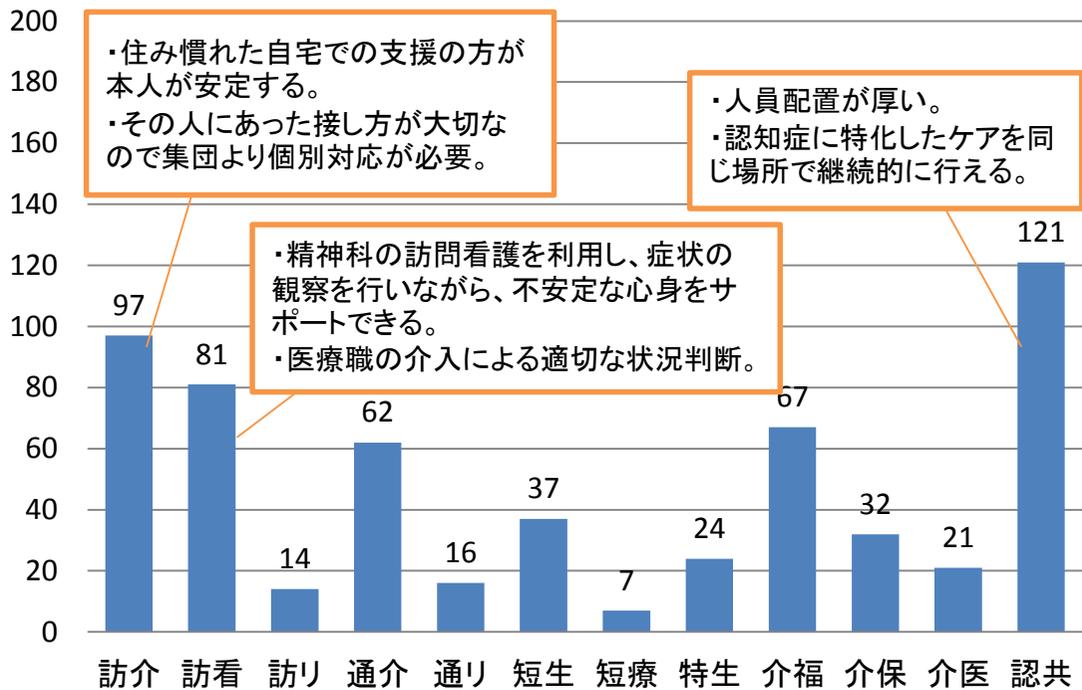
## 興奮に対して有効と思われる介護サービス



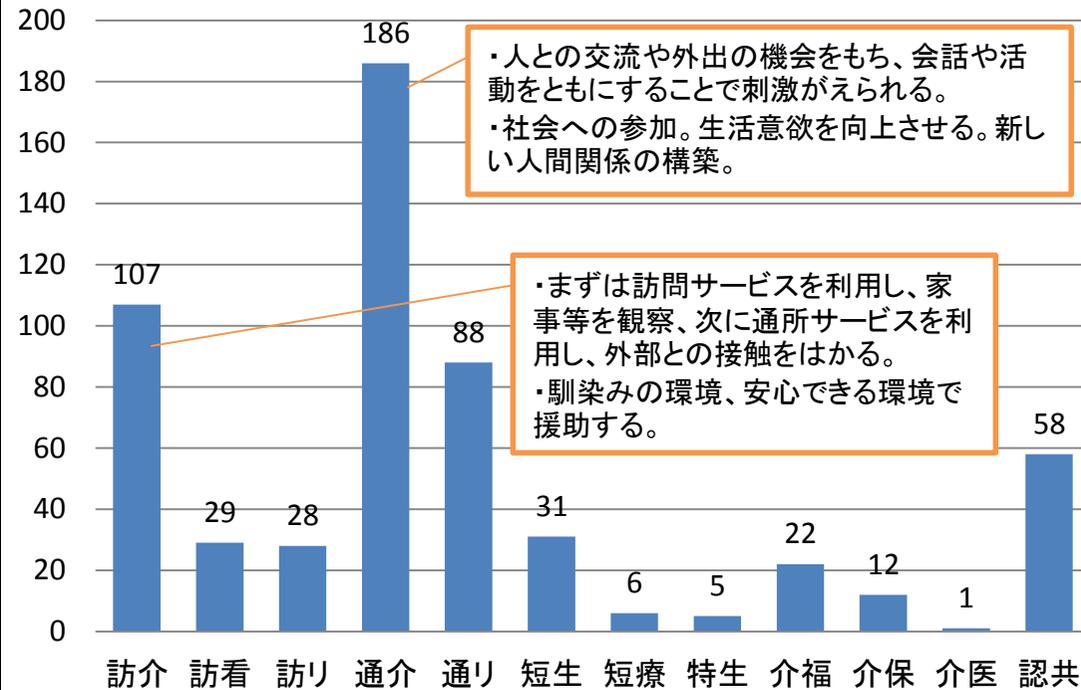
## うつ・不快に対して有効と思われる介護サービス



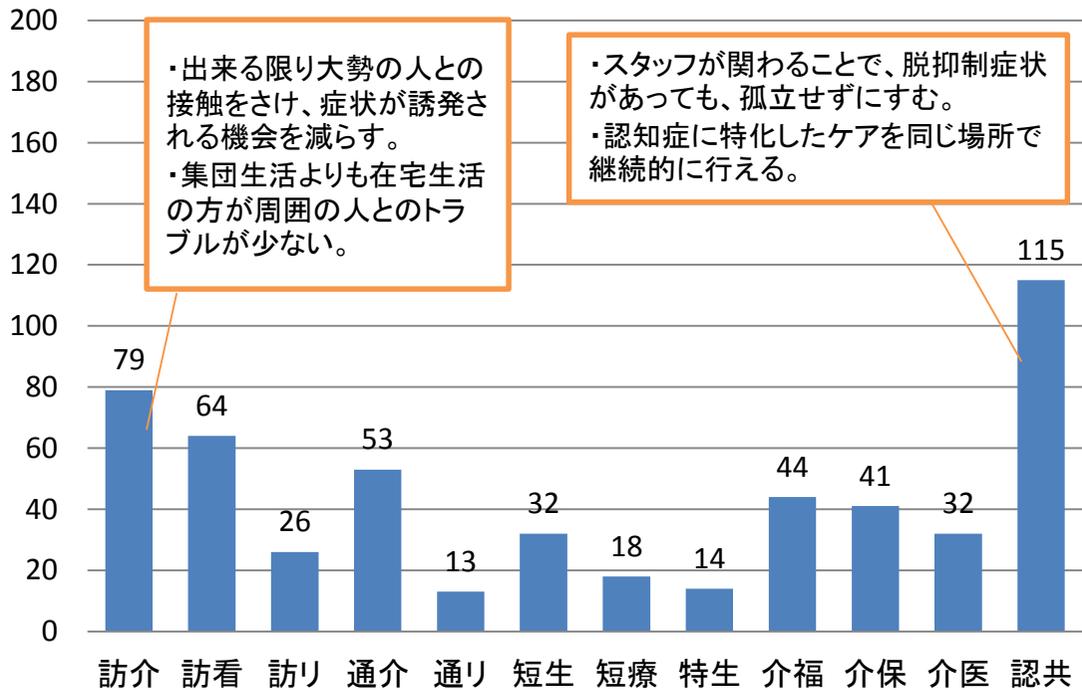
### 不安に対して有効と思われる介護サービス



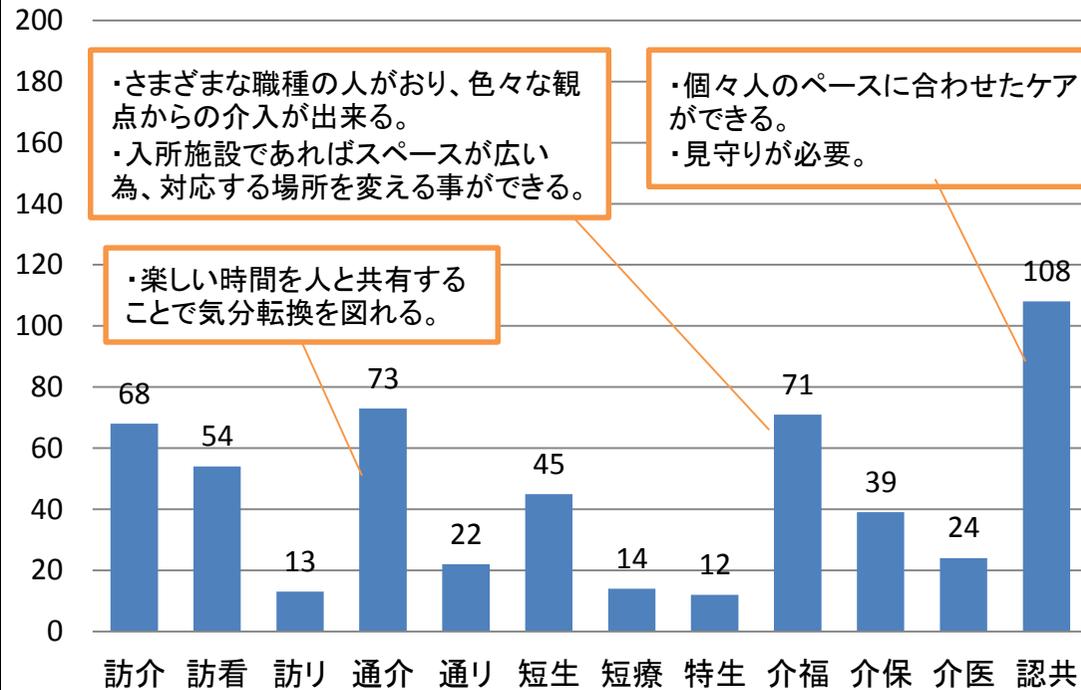
### 無為・無関心に対して有効と思われる介護サービス



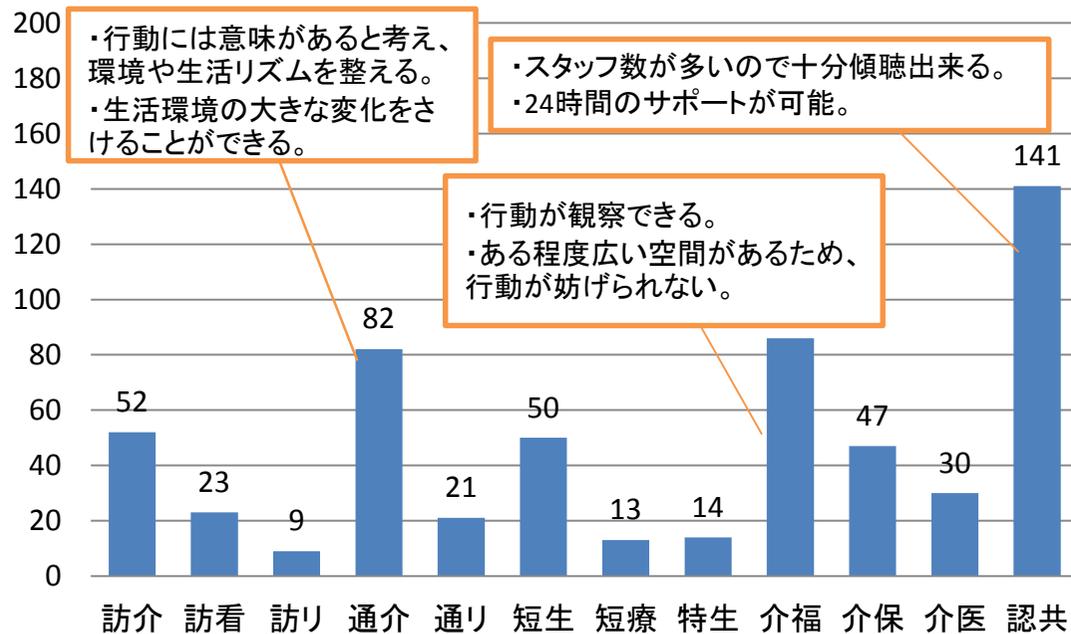
### 脱抑制に対して有効と思われる介護サービス



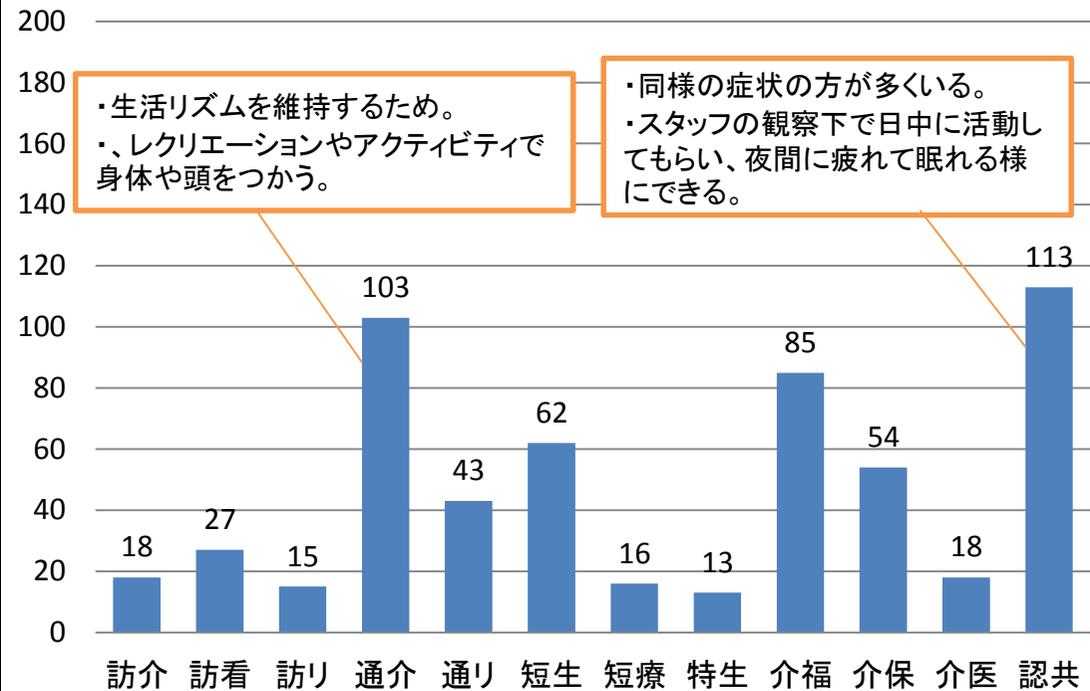
### 易刺激性・不安定性に対して有効と思われる介護サービス



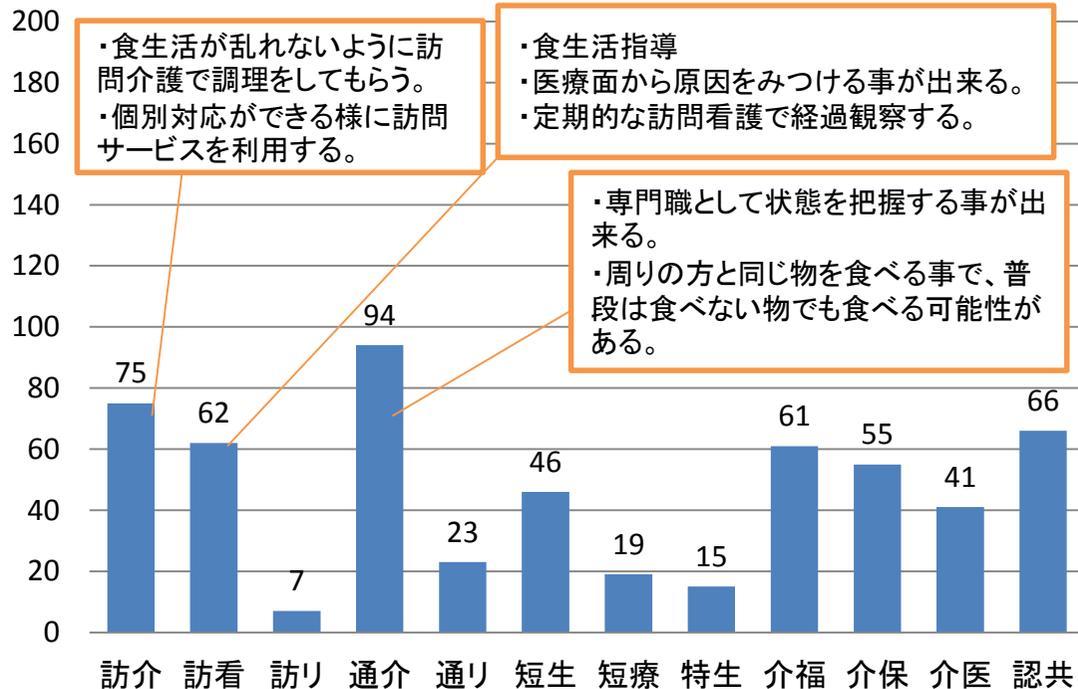
## 異常行動に対して有効と思われる介護サービス



## 睡眠障害に対して有効と思われる介護サービス



## 食行動異常に対して有効と思われる介護サービス



●本ファイルは、平成25-26年度 厚生労働科学研究費補助金 認知症対策総合研究事業及び平成27年度 日本医療研究開発機構 (AMED) 研究費 認知症研究開発事業「BPSDの予防法と発現機序に基づいた治療法・対応法の開発研究 (研究代表者: 数井裕光)」により作成された